

1 活動名

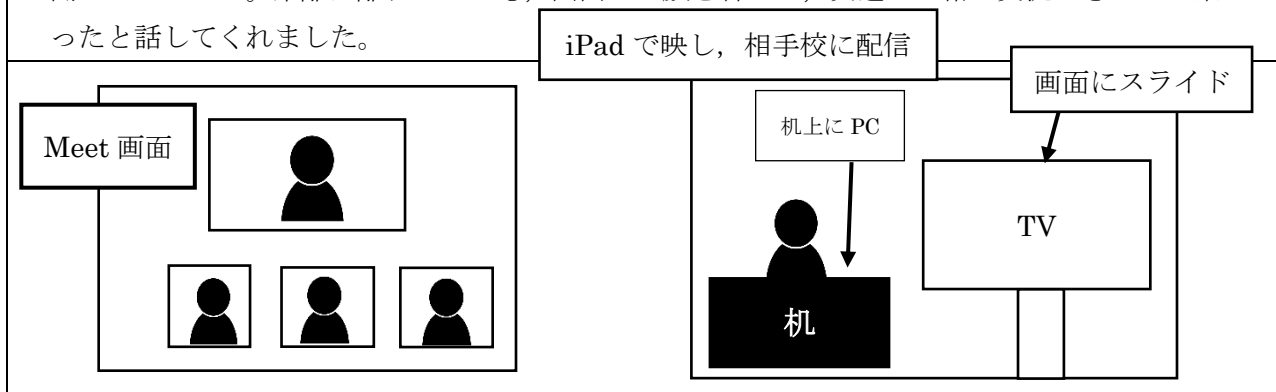
居住地校学習（オンライン実施）

2 対象

- ・小学部児童，塩釜校児童，相手校：

3 内容と取組の様子

- ・コロナ禍のため直接交流は行わず，オンラインでの間接交流を行うことにしました。相手校が分校との交流もあることから，宮城県立利府支援学校塩釜校（分校）も含めた3校で Classroom アプリを使用し交流学習を実施しました。
- ・学習は，9月7日（火）と10月20日（水）の合計2回実施しました。
- ・オンライン学習の内容は，一度目は自己紹介と学校紹介，二度目は一学期の振り返りと二学期の抱負，相手小学校はSDGsについて調べたこと等を発表しました。その後，お互いに質問し合う時間を取り，やり取りを行いました。2回とも約20分の交流でした。
- ・各自 iPad で，スライドを映しつつ交流を行いました。一度目で，Meet 接続・映写は問題なくできましたが，ハウリングや声の聞きづらさなどがありました。二度目は，iPad の台数を調整したり，適切なタイミングでマイクミュートしたりすることで状況が比較的改善されました。
- ・塩釜校が当日参加できなかったため，後から Classroom で児童の学習の様子や自己紹介を共有し，それぞれ閲覧して交流を深めました。
- ・児童は，オンライン交流が初めてで緊張していた様子でしたが，発表が始まると集中して友達の話を聞いていました。距離は離れていても，画面上で顔を合わせ，友達と一緒に交流できたのが楽しかったと話してくれました。



4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)

- ・iPad ・Google Workspace for Education (GoogleClassroom, Meet)
- ・PowerPoint ・ヘッドセット，イヤホン ・PC ・TV

5 おすすめポイント

- ・物理的距離が離れていても，同じアプリを使用して簡単に繋がり，直接やり取りができる。
- ・当日参加できなくても，また，交流が終わった後でも，Classroom でフォルダを共有することで，それぞれの出来事や事後報告を自分のタイミングで楽しむことができる。
- ・児童がタブレットやアプリを扱うことで，その知識や技能が高まり日常生活でも使いこなしたいという意欲が高まる。

6 さらに工夫したいこと

- ・事前に様々なツールに触れ，今後の活用の幅を広げたい。
- ・居住地校学習としてだけでなく，学校内や家庭などでの利用も検討していきたい。